

科目名	行政経営研究A（1クラス）
担当者	北川正恭
配当学期	春学期
単位	2単位
授業概要	授業の形式については、講義中心にならないよう配慮し、ダイアログ、受講生による発表、学外見学、外部講師の招聘を組み入れていきたい。
授業の到達目標	<p>現在、日本も世界も歴史的な文明の大転換点にあるといえる。政治、行政も従来の事実を前提にした発想から価値を前提とした新価値創造に重きを置くシステムに改革していくことが必要となっている。</p> <p>本講義では、公共経営の観点から、経営品質、ニュー・パブリック・マネジメント、地方分権、マニフェスト、選挙開票事務改革、FM、IR、CSR等を分析し、管理型行政から経営型行政への移行を検討することにより、基本的な知識を習得するとともに、現実への応用についても可能な限り取り組んでいきたい。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクションー北京の蝶々 2. 経営品質（1） 3. 経営品質（2） 4. ニュー・パブリック・マネジメントの基本原則（1） 5. ニュー・パブリック・マネジメントの基本原則（2） 6. 地方分権（1） 7. 地方分権（2） 8. マニフェスト 9. 開票事務改革 10. FM(ファシリティマネジメント、Facility Management)（1） 11. FM(ファシリティマネジメント、Facility Management)（2） 12. IR（インベスターリレーションズ、Investor Relations） 13. CSR（Corporate Social Responsibility） 14. ダイアログ 15. 授業のまとめ
教科書	北川正恭『生活者起点の「行政改革」』（ぎょうせい）
成績評価方法	講義では、受講者による発表を定期的に行うとともに、必要にあわせてダイアログを行うので、講義への出席を必須とする。評価については、講義への参加状況・中間レポート(20%)、2～3千字程度の期末レポート（80%）により総合的に評価する。なお、聴講者にもレポートを課すものとする。
備考	1クラスは、地方自治体派遣生、公務員志望者、2クラスは、社会人、一般学生を対象に行う。教科書を使用するので、講義開始時まで各自で購入しておくこと。講義では、受講者による発表を行う。発表担当者は、受講者数分のレジュメを各自でコピーし、持参すること。パワーポイントを使用する場合は事前に連絡すること。また、プロジェクト期間を利用し、プロジェクト授業を学外にて行う予定である。詳細は、第1回目の講義で指示する。